

Title	堀江博士著 経済財政講義
Sub Title	堀江博士著 経済財政横義
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.3 (1913. 7) ,p.617(201)- 618(202)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130710-0201

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

養老年金、失業者、苦役労働、住家并に土地問題、ロイド、デヨーシ豫算、上院議決権制限、國民保險の數章を設け、各章を數節に區分し、是等諸問題に關する議案が議院に提出せられたる際、上下兩院に於て、提案者の爲したる説明演説の要點を掲げたる後に、各政黨の代表者の賛成反對を附記し、最後に法律の全文を擧げたるを以て、最近七八年間英國に起れる社會政策上の諸問題が如何なる方面より如何なる賛成と反對とを受けつゝ、結局實際の立法と爲れるやを明にし、殆ど些の遺漏あるを見ず。若しも是等諸議案が議院に提出せらるゝに先だち、調査委員會に於て如何なる審査を重ねたるや、其審査の一斑、決議の要領を記述したらんか、更に讀書者を益すること大なりならんに、此點に就ては著者は著しく勞を省きたり。隨て救貧法問題の如き、社會政策に留意する者の念頭を去るを許さざる所なるに拘はらず、委員會の審査

を經たるに止まり、未だ立法上の討論に上らざるの故を以て、著者は纔に數頁を此問題に割きて、委員會報告の一端を略述したるが如き、本書の結構の然らしむる所とは云へ、聊か遺憾なき能はず。

英國に於て近年社會政策を支持する思想の發展し來れる原因は著者の序論に於て略ぼ盡されたりと雖も、學術的記述の點に於ては、固よりダイシー氏の「英國に於ける法律と輿論との關係」に及ぶ能はず、平易通俗を可なりとすればアルデン氏「民主政治の英國」を以て本書に勝れりとする可し。然る一の冊子中に、廣汎なる社會政策上の問題殊に防貧政策上の諸問題に就て法案提出當時より其成立に至るまでに起れる議論の要點を拔萃し、讀者をして所謂 First Hand の材料に依り、問題の全部に通曉せしめ、偏見獨斷に惑はざるの恐なきを得せしむるは、本書の特色として、掲記せざるを得ず。著者は本

書の表題に註し Materials illustrating Contemporary State Action for the Solution of Social Problems. と云へり。全體の記述は能く此註解に負かざるを得たり。著者が米國コロンビヤ大學の歴史學科助教授にして、同大學編輯の雜誌「ボリチカル、サイヤンス、グオーターリー」の「政治事件記録」の擔當者の一人なるは本書の信用を保證するの資料たる可し。評者は英國社會政策に興味を有する邦人の本書を通じて、各種の材料を咀嚼するを望む。(堀江歸一)

堀江經濟財政横議
歸一著

大正二年四月實業之日本社發行
菊判四百二十二頁定價金一圓廿錢

先月十三日山本内閣は内閣組織以來畫策しつつありし制度及財政整理を發表せり。此整理の爲め淘汰せられたる勅任、奏任及び判任官は其

數五千を越え、同時に解雇せられたる雇員備員も亦五千に及ぶと云ふ。而して俸給及び其他の經常并臨時費の輕減及び事業繰延に依りて節約せる國費三千四百萬圓に達す。此整理事業の利害得失に至りては之を其結果に徴す可くして未だ遽かに之に對して妄評を加ふ可きものに非ずと雖も、軍艦の建造と密接の關係を有する海軍大將を首相と爲し且つ由來積極政策を標榜せし政友會を後援とせる現内閣の事業としては一大英斷なりと云はざるべからず。而かも現内閣をして此英斷を敢てせしめたる原因は本年初春の政變に之を求めざるべからず。然りと雖も、本年初春の政變の真相と其原因とを究めんと欲せば、過去二年間に於ける桂内閣及び西園寺内閣の政綱と政策とを知らざるべからず。

慶應義塾教授法學博士堀江歸一氏は明治四十四年二月一年の外遊を了へて歸朝せられし以來東京日々新聞の囑托を受けて財政并に經濟上の

時事問題に關する論説を寄稿せられしが、此等は皆過去二年間に於ける政府の財政々策の眞髓と其適否とを知るに最も有用なる文字なりとす。堀江博士が我國に於ける有数の財政學者なるは茲に贅するの必要なのみならず、博士が我國の論壇に於て獨立不羈の地歩を占め、何等の權威に屈せず、何等の階級に媚せず、何等の黨派に與せず、常に何等の制裁と拘束とを許さざる犀利なる筆舌を以て時事問題に對して縱議横論せらるゝことに就きても世既に定評あり。

實業之日本社は此等有用の文字が徒らに古新聞紙と共に忘却せられんとせしを憂ひてか、今回之を纂集編整して之に永久的衣裳を與ふるると同時に新たに之に對する世人の注意を喚起せんとせり。『經濟財政横議』即ち是れ也。載する所は前記財政問題の論評以外に物價論あり、金融論あり、勞働問題あり、條約改正問題あり。されば、之を小にしては本書は過去二年間に於け

る財政史の側面觀察と名くべく、之を大にしては同じく過去二年間に於ける經濟史要と稱すべきか。目下の問題たる制度整理の原因を知らんと欲する者、過去二年間に於ける經濟史の梗概を知らんと欲する者、時事問題に對する著者の抱負と氣焰と寸鐵とを知らんと欲する者は本書の存在を看過すべからず。

ブロック教授原著
三上正毅氏 譯述 財政學

大正二年三月東京崇文館發行
菊列八百三十頁正價金參圓

本書は原名を Selected Readings in Public Finance (財政學名論集)と云ひ、ハーバード大學教授ブロック氏の編纂に係るものなり。本書編纂の目的は財政學に關する歐米諸大家の名論卓説を收集して財政學の研究者をして單に一二の教科書又は參考書に頼らずして、直接に大家の筆に成りたる有名なる財政論を熟讀せしめて、

以て斯學を研鑽すると同時に斯學の發達に對して貢獻する所尠からざる學者及び其著述に關する一般的概念を與ふるに在りとす。されば、本書に載するものはアダム・スミス、リカード、李嘉圖、ミル、ルロア、ボーリユ、バークナー、セリグマン、バスターブル、ハドレイ及び其他數十の大家の學說なるが、之をば普通の財政學教科書の要目に準じて分類し、其順序に従ひて排整せるを以て、首尾一貫したる著述と殆んど異なる所なしと謂つべし。

本書の譯者三上正毅氏は經濟學專攻の爲め多年米國に留學し、歸朝後幾多の著書并に譯書を發表せられたるが就中アダム・スミスの富國論マルサスの人口論、并にデー教授著世界商業史を譯述して大に名聲を博せられたり。斯の如く譯述に多年の經驗を有せらるゝ人の手に成れることなれば、本書の譯述は自然正確忠實、行文又平易流暢にして普通の譯文と其撰を異にす

譯書は原著の譯出以外に附録として、故乗竹幸太氏の遺稿『肅堂遺稿財政論』中の一項日本租税の沿革、小林丑三郎氏著『財政學提要』より日本現在の税制論、松崎藏之助氏著『財政學』中の手數料論、堀江歸一氏著『財政學』より日本の公債沿革に關する一項、并に阪谷芳郎氏(『日本經濟論』)及び松崎藏之助氏の豫算論を轉載せるを以て、内外の諸制度を比較研究するの便を與ふるものなりと謂つべし。財政學の研究者殊に直接諸大家の名論を聞かんと欲する者には本書は有数の參考書なり。

佐野取引所投機取引論 卷上
善作著

大正二年五月明治大學出版部出版
菊列五百十八頁正價金貳圓七拾錢

本書は多年其心血を注ぎて我國に於ける取引所の發達を攻究せられたる佐野博士の近業にして且つ其の『マグナム・オプス』なり。全篇を緒